



越谷市

令和元年度越谷市 ビジネスパワーアップ補助金 活用事例集



越谷市環境経済部
産業支援課



事例

1

株式会社エントアン

新商品開発とブランドの世界観を伝える空間づくり

企業概要

手作りの革靴、革小物の製造販売、革製品の修理をメインにしたブランド展開をしている。また、革製品だけでなく、靴のある空間が楽しい場所になるよう下駄箱（家具）や靴の文化、靴の素晴らしさを広げるものづくりを行っている。

補助事業の内容

当社のメインは靴づくりであり、革小物の製造には、また違った技能が必要である。自分たちのノウハウで作れるものに関してはこれまでも作ってきたが、細部の構造について突き詰めることができないという課題があった。

そこで、本事業では、靴ブランドだからこそ作れる新しい価値ある革小物の開発を他専門メーカーと協力して行った。

また、展示会等で商品を立体物として感じてもらえるような空間づくりに取り組んだ。

成果・今後の展望

革小物のサンプル製作にあたり専門メーカーと協力したことで、クオリティが向上し、同時に作業の効率化も図れ、前年度の約2倍の新商品開発を行うことができた。

今後もネット販売を通じて広く当社について知っていただき、そこからさらに深くファンとなってもらうため、展示会やイベント、工房でブランドの世界観を伝え、コアなファンの獲得を目指していく。



【ブランド商品のイメージ】

事業者
の声！

自社ブランドについて深く見つめ直すきっかけとなりました。新製品開発も前年の2倍行い、新たな注文につながりました。什器購入も来店されたお客様に喜んでいただけています！本事業をきっかけに、新製品開発と顧客満足度の向上を今後も積極的に行っていきます。また、地域貢献として事業を拡大していきたいと思っています。

株式会社エントアン

代表取締役 櫻井 義浩

◆担当者: 櫻井 義浩

◆所在地: 赤山町4-7-46

◆TEL: 048-992-9500



事例

2 株式会社 北国からの贈り物

訪日外国人を対象とした商品開発とブランド展開！

企業概要

平成10年に地元北海道で卸している蟹のインターネット販売を開始した。質の良い商品やきめ細やかなサービスなどが評価され、楽天市場ベストショップ賞など多数の賞を受賞している。

平成22年からは海外事業もスタートし、現地での接客販売においても、きめ細やかな対応から顧客の信頼を得ている。

補助事業の内容

近年では、国内EC事業の収益性が低下していたことから、海外を対象とした収益性の高い事業の拡大をすることが課題であった。

本事業では、自社ブランド「HOKKAIDO SHOWCASE」の訪日外国人へのブランド展開を目指し、北海道素材を活用した新商品開発と、多言語対応ECサイトを作成した。また、当サイトを利用した訪日外国人向けのテストマーケティングを行った。

成果・今後の展望

本事業を通して、訪日外国人の自社ブランドへの認知度を高める事ができた。また、アジア市場での商談会や販売においての知見を高めることに繋がった。

今後、得られたノウハウを活かして、訪日外国人、アジア市場向けのECサイトを運営していき、海外EC事業へのシフトを図っていく。



【開発した訪日外国人向けの新商品】

事業者
の声！

パワーアップ補助金を活用することで訪日外国人に喜ばれる商品開発と商品パッケージデザイン、ECサイトの構築を行うことができました。今回のEC販売でのテストマーケティングでは、今後の成長に繋がる確かな手応えを感じています。補助金事業の関係者の方々には、スタート段階から有意義な意見やアドバイスを聞くことが出来たので、本事業をスムーズに進めることが出来ました。本事業に参加してとてもよかったと思っています。

株式会社 北国からの贈り物

代表取締役 加藤 敏明

◆担当者:加藤 敏明

◆所在地:千間台西1-8-7-205

◆TEL:048-974-0894



サンライズ工業 株式会社

柔軟に最適な熱交換器を提案！
独自能力計算プログラムの確立

企業概要

昭和43年の設立以来、業務用熱交換器の専用メーカーとして、国内トップクラスの技術開発力、生産能力、品質保証体制を持つ。

多様化・高度化する顧客ニーズに対応するため、「個別対応型少量多品種生産」、「開発志向OEM生産」を強みとしている。

補助事業の内容

新規顧客の獲得に向けては、顧客ニーズに合わせた熱交換器の省スペース化や能力安全率の設定が求められており、これまで以上に能力計算の信頼アップが求められていた。

そこで、自社独自で実験装置の設計・開発を行い、熱交換器を介した熱量を測定することで、実験値（熱交換器の熱量）を基準とした信頼性と自由度の高い「能力計算プログラム」の確立に取り組んだ。

成果・今後の展望

独自の実験装置が完成。測定した実験値を基準として、能力計算プログラムの補正が可能となった。

なお、実験値の蓄積は継続中であるが、能力計算プログラムが確立されることで、省スペース化や柔軟な能力安全率設定などの、顧客ニーズに応じた最適な熱交換器の提案が可能となる。

今後は、事業の成果を活かし、これまでと異なる素材の熱交換器の開発などにも取り組み、新たな分野での顧客獲得を目指す。



【実験装置の外観】

事業者
の声！

業務負荷により補助事業の推進に遅れが生じましたが、製造部の協力で実験装置が完成し、「能力計算プログラム」の精度を向上させることが出来ました。

今後は「能力計算プログラム」を充実させ、顧客への最適な提案と新分野への挑戦で、「サンライズ工業」のブランド向上に発展させたいと思います。

サンライズ工業株式会社
代表取締役社長 中山 晃宏
◆担当者:阿部 浩之
◆所在地:川柳町2-546
◆TEL:048-988-1511



事例
4

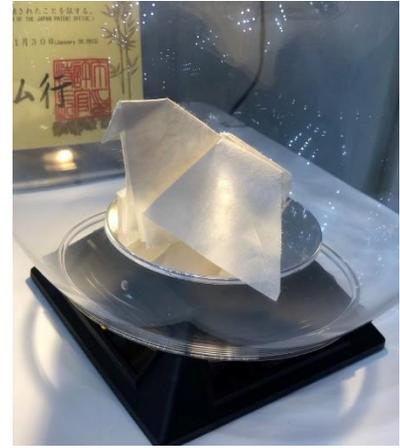
中島プレス工業 株式会社

渋沢栄一ビジネス大賞特別賞受賞！
独自技術による自社製品の開発

企業概要

昭和49年設立のプレス加工事業者。フィルム、フェルト、不織布等の型抜き加工技術に定評があり、型の設計から対応が可能。

下請け加工プラス、新規ニーズに伴う商品開発や自社製品の開発にも注力。「布生地
の形状記憶方法」の特許技術は、渋沢栄一
ビジネス大賞テクノロジー部門特別賞を受賞。



【世界初！和紙の形状記憶・鳩】

補助事業の内容

埼玉県産業技術総合センターや埼玉伝統
工芸館と協力し、特許技術を和紙素材に横
展開した「和紙&折り方練習キット」の開発に
取り組んでいるが、その技術確立をはじめ、
生産コストの削減や効果的な情報発信方法
などに課題があった。

そこで、商品化が可能なコストの実現に向
けた作業の効率化や、自社開発商品と高い
技術力を発信できる魅力的なホームページへ
のリニューアルに取り組んだ。

成果・今後の展望

特許技術を活かした形状記憶和紙の開発
に成功。また、機械装置を導入した工程の改
善により、従来の約2倍の作業効率を実現で
きた。さらに、ホームページのカテゴリ分けを見
やすくするとともに製品写真を多く掲載したこ
とで、高い技術力の発信につながった。

ただし、「和紙&折り方練習キット」の商品
化や量産化に向けては、まだ課題が残っており、
引き続き開発を続けていく。

今後は、自社開発製品の販売割合を高め
ることで、競争優位性の確立を目指す。

事業者
の声！

産業支援課の皆様、コーディネーターの方にご指導いただき本計画を実施することが出来ました。事業の成果は彩の国ビジネスアリーナで発表することが出来、来場者様のご意見も伺う事が出来ました。引き続き、商品開発・課題解決に取り組めます。

中島プレス工業 株式会社
代表取締役 小松崎 いずみ
◆担当者:小松崎 いずみ
◆所在地:増森2544番地
◆TEL:048-964-9924



事例
5

白山ベーグル

ネット販売体制確立へ！ホームページリニューアルによる販路開拓

企業概要

平成17年に東京都文京区白山にて開業し、平成24年に現在の場所へ移転した。

北海道産小麦100%にこだわり、地元の野菜を使ったベーグルサンド等を販売。ベーグルに合うコーヒー豆やハーブティーなども販売している。

補助事業の内容

これまでも店舗での販売に加えてSNSを使っただけの注文も受けていたが、ホームページ上の情報が簡易なものであり、商品説明や注文確認など時間がかかることが課題であった。

そこで、本事業ではホームページをリニューアルし、季節ごとのセット商品情報や注文方法等のコンテンツを自店舗で追加できるようにシステム構築に取り組んだ。

成果・今後の展望

ホームページをリニューアルしたことで、商品説明や注文方法が分かりやすくなり、ネット販売の利便性向上につながった。また、自店舗でコンテンツを追加できるようにしたことで、新着情報やイベントなどの情報を随時発信できるようになり、併せてスマートフォン対応とすることで閲覧数の向上にもつながった。

今後5年間で顧客の属性に合わせた情報を発信できるようにし、ネット上での決済もできるようにすることで、ネット販売体制を確立させていく。



【 店舗外観の様子 】

事業者
の声！

HPIに通販情報を掲載することにより、全国のお客様に向けて販売が可能となりました。今後は通販売上で得られる情報を集積し、サービスの向上、商品開発につなげていきたいと思っております。

また産業支援課の皆様、コーディネーターの方々には毎月丁寧なご指導を頂きありがとうございました。

白山ベーグル

代表 柴崎 清憲

◆担当者:柴崎 清憲

◆所在地:袋山1418

◆TEL:048-976-2711



事例
6

有限会社 ヒューマンアンドコミュニケーション

(地場野菜イタリアン カポナータ)

地場農産物を使ったスイーツ開発！魅力を伝える販路開拓事業

企業概要

平成12年、東越谷にイタリア料理店「カポナータ」を開業。地場野菜を中心とした厳選素材にこだわり、来店者より高いリピート率を得ている。また、「苺のかけジャム」や「越谷バター」などの地元食材を使ったギフト開発も行っている。



【越谷産メロンのパウンドケーキ】

補助事業の内容

近年の消費者の節約志向や消費行動の変化により、今後店舗だけで売り上げを伸ばすことが難しくなっている。そのため、地元食材を使った質の高いギフト開発や地域のコラボ商品など新たな商品開発が課題であった。

本事業では、新商品開発のための試作費や、商品のパッケージデザイン、チラシデザインを行った。また、商品の完成後には、顧客向けに新商品「越谷スイーツ」のDMの発送、来店者への配布を行い商品の周知を行った。

成果・今後の展望

新商品「越谷産メロンのパウンドケーキ」、「越谷産ハチミツのかけジャム入りフロランタン」、「越谷フィナンシェ」を開発。

また、DMの発送や来店者へのチラシの配布により新商品への問い合わせが多数あり、ギフト商品の売り上げ増にもつながった。

今後、「越谷スイーツ」の改善を行い、新たな顧客の開拓と既存の顧客のリピート率の向上を目指していく。

事業者の声！

地元の農産物を使い手土産、ギフト、プチギフトになるスイーツの開発を行い、その中で新しいギフトの取り組みとして越谷の美しい風景をパッケージデザインに落とし込み新たな価値を見出すことに努めました。今後も改良、改善を重ね完成度を高めてまいります。

有限会社ヒューマンアンドコミュニケーション

代表取締役 鈴木 実

◆担当: 鈴木 実

◆所在地: 越谷市東越谷6-122-3

◆TEL: 048-967-0077



事例
7

未来工房 結

荷物の多い登下校を安全に！
ランドセル補助バッグの販売促進

企業概要

わが子をもっと楽しく安全に登下校させたいとの思いから平成26年に創業。

手荷物をスッキリ収納することで、手ぶらでの登下校を可能とする、日本初のランドセルに取り付けられるサイドポーチ（てぶラン）とアンダーバッグ（ランバ）の企画販売を行う。

補助事業の内容

ランバはメディアで取り上げられたこともあるが、全国的な知名度は決して高くなく、より多くの保護者の方に、子供の安全につながる商品であることを、いかに知ってもらうかが課題であった。

そこで、ランドセル商戦時期である、8月～1月にかけて、小学生の親世代をターゲットとしたインターネット広告やオリジナル動画のSNS発信に取り組み、商品の魅力を全国にPRした。また、市内に向けては新聞の折り込み広告によるPRを行った。

成果・今後の展望

商品PRの成果をもとに、更なる販売促進に向けて2月にプレスリリースを実施。テレビやラジオに取り上げられたことで、インターネット広告等を介した注文につながり、9月～2月の売上は前年比で約5倍に増加。

今後もインターネット等を通じた商品PRを行うとともに、対応ランドセルを増やすための商品改良や更なる営業強化に取り組み、全国の小学生に安全な登下校を届けることを目指す。



【ランドセルアンダーバッグ
Ranba(ランバ)】

事業者
の声！

今回補助金を活用させていただきまして、全国の小学生や保護者の方にランドセルアンダーバッグRanba(ランバ)の周知をすることが出来ました。

補助金で土台作りをし、数多くのメディアに取り上げて頂いた結果、予想以上の生産数の増加につながりました。ありがとうございました。

未来工房 結

代表 三ツ木 一浩

◆担当者:三ツ木 一浩

◆所在地:西新井795番地3

◆TEL:050-3825-6723



発行:令和2年6月